

- 十一月十九日 福岡市
- 十一月二十一日 久留米市
- 十一月二十三日 大牟田市
- 十一月二十五日 熊本市
- 十一月二十七日 鹿兒島市
- 十一月二十九日 宮崎市

財團  
協調會福岡出張所

## 宣

## 言

將に昭和維新斷行の前夜に當り、五大臣會議に引つゞくべき、維新國策の廟議こそは、實にその一大轉機でなければならぬ。吾は廟堂に奮闘せる軍部大臣をして、澎拜として勃興しつゝある新興維新勢力の潮頭立たしめ、國家革新の大方策を樹立し、以つて昭和維新の根基を全ふしなければならぬ。顧るに滿洲事變並びに國際聯盟退却は昭和日本の天業恢弘、亞細亞復興の大宣言であつた。然るに國內情勢は、政治及び國民生活の極度の不安、思想の混亂等實に憂ふべきもの有り、更に亦所謂一九三五・六年の國際危機に直面して全く、興亡の岐路に立至つてゐる此の重大危機に臨んで、よく祖宗の遺業を無窮に展開せんとすれば、政治經濟外交軍備の一元化に依る國防の完備と諸政改革に依る國民生活の安定以外には斷じてない。

財團  
協調會福岡出張所